



世界人類の助かりを目指す金光教

## 教会だより 『しのはら』

宗教法人金光教篠原教会 〒520-2301 野洲市小南 1842

TEL077 (587) 1624 FAX077 (587) 1867 Eメール [shinohara-ko373@hotmail.co.jp](mailto:shinohara-ko373@hotmail.co.jp)

新年おめでとうございます 今年もよろしくお願いします

震度 7 の地震が能登半島を襲い、笑顔で迎えた団欒のひと時を

奪ってしまった昨年の正月。追い打ちをかけるように、9 月豪雨災害に見舞われた被災地の方々にとってどんな思いでお正月を迎えられたことか想像もできない。厳しい自然状況の中を、沢山の方々が復旧、復興支援に携わってくださっている。どうぞ、引き続き私たちも、できることで、復興支援のお手伝いを、また、世界中に笑顔の輪が広がります様、心を寄せ、祈り、実行させていただきたいと願っている。

二代金光さま

桜の花のみ教え

大津教会発行

修行物語控より（筆者要約）

今年は、篠原初代教会長（奥山勇藏師）が教えの親とお慕いし、そのご恩に報いさせていただきたいと願い続けておられた大津初代教会長が神上がりされて 100 年。「高阪真心廣知大人 100 年祭」が 12 月 7 日（日）

11:00 から金光教大津教会で難波教会長ご祭主の下にお仕えになります。

大津初代教会長 高阪松之助師は、京都で細々と商売をしていた。明治 17 年頃、杉田師が天地金乃神、生神金光大神様の真の道を広めるために、大阪から京都島原へきて説き聞かせていた。

人が勧めてくれたけれど松之助師は、疑い深かったので聞き入れずにいた。ところが、近所でも“気の毒な家”と、噂されていた口八兆手八丁、わがまま気ままな頑固婆さんが、ある人に誘われ話を聞ききに。そのうちに、だんだんと人が変わり、今までのことを夫に詫び、子どもにも優しくなって家内中が仲良くなっていった。それを見た師は、“あの老婆が改心し、善人になる教えは、なんと立派な教えだ”と悟り、信心の道に入った。

そして各師に教えを乞い、導かれつつ教えの勉強 研究に余念がなく、貧しい商いをしながら人々に道を伝えることを楽しみにした。

明治 19 年 9 月大津の長柄山の麓で粗末な家を借り、小間に天地金乃神様を祀り布教始めた。人ひとり来ない仮の御神前で、何よりも嬉しく有難く、朝夕 世の人々、病気病難で困っている人々、京都に残してきた、親 妻子の立ち行きを願っていた。その間

に難病の人々が次々とお引き合わせになり、みな全快のおかげを頂き日増しに盛んになっていった。

翌年（1887）1 月には、信者 11 名と共にご本部へ。二代金光さまに「私は先般大津へまいりまして、神さまのおかげにより、布教をさせて頂いております。神さまのお助けによって、皆々おかげをいただきました」と申し上げた。「大津へいつ行かれましたか？」「昨年の 9 月にまいりました」「昨年の 9 月なら、まだ何ほども経っていないな」「さようでございます。わずかの間に、このようなおかげを頂き、有難く仕合せです」と申し上げたところ、「信者さんの沢山なのは、桜の花が咲いたようなものじゃ。嵐が来たらみな散るわい。実になる信心をせねば、おかげにならん」と言われ、後しばらく無言であられた。神様から氏子へお蔭が授けられ、教えは、金光さまからお授けくださる。おかげは、信者の真心と神様のお徳によるものであるのに、自分の自慢心で申しあげていたことに、やっと気づき、神様にお詫び申しあげていたら、金光さまから、「しかし、花が咲かねば実がならん。実になる信者をつくらせてもらいなされよ」とご理解くださった。





御霊神様に心を向けましょう



4 日元始祭に併せ、初月霊祭をお仕えします。お繰り合わせを頂いて参拝させていただきます。1 月祥月命日を迎えられるお霊様は下記のとおりです。



おみたさまありがとう



奥山こん刀自 奥山重太郎八重玉翁 奥山まつ郎女 渡辺こん刀自 高畑教子照玉郎女 池田きり刀自  
藤田政治郎老叟 杉江磯右衛門殿翁 布施善之助光吉賢門大人 池田きり刀自 今井熊吉都達翁 田中春刀自  
青木茂真盛郎男 服部助治翁 馬場なお刀自 和田とら刀自 鎌田敏子郎女 井口とみ刀自 鎌田留治郎老叟  
谷口とよ刀自 谷口きよ刀自 寺出兼吉老叟 谷口もと刀自 村地ふい刀自 村地ひさ郎女 川村古堅太老叟  
村地久五郎老叟 奥野富吉老叟 岡田信一郎伊豆神翁 奥田登女清根刀自 上才はな刀自 丸岡槇とき刀自  
万里川豊大人 益田重吉老叟 沢田幸一老叟 沢田幸雄郎子 北脇宇野刀自 松浦きみ刀自 柴原ふさゑ刀自  
菱田ふみ刀自 富田こと刀自 中村俊子之霊 下村ハツノ刀自 可知実太郎真道別彦 南井定治郎大人  
中村誠次郎之霊 山本まつ刀自 徳谷要四郎之霊 奥村政子之霊 村地与惣治老叟 増田豊郎子 西川良美之霊  
島村半次大人 多田まさ之霊 菱田喜代子之霊 向井ひろ刀自

※上記の霊神名簿に記載もれや誤記がありましたら、教会までご連絡ください。

時々刻々どんなときも身に寄り添いお守りくださっています毎日お礼を申しましょう



## 2025 年度（令和 7 年）ご霊神様式年祭表

帰幽年	年祭	帰幽年	年祭	帰幽年	年祭
令和 6 年	1 年祭	平成 12 年	25 年祭	昭和 40 年	60 年祭
令和 4 年	3 年祭	平成 7 年	30 年祭	昭和 30 年	70 年祭
令和 2 年	5 年祭	平成 2 年	35 年祭	昭和 20 年	80 年祭
平成 27 年	10 年祭	昭和 60 年	40 年祭	昭和 10 年	90 年祭
平成 22 年	15 年祭	昭和 55 年	45 年祭	大正 14 年	100 年祭
平成 17 年	20 年祭	昭和 50 年	50 年祭	満年令で数えます	



## 2024 年度募金報告



災害復興募金箱・女性部バザー・賽銭箱・教会布教費から総計 383673 円・白米 60 kg  
能登半島地震へ 総計 (204283 円)  
1/7 バス参拝車中募金 46,000  
10/10 バス参拝車中募金 27,230  
(金光教本部を通じて)  
1/10 40,378 3/13 21,769  
4/23 10,925 9/26 5,7981  
(日本赤十字社を通じて)

金光教平和活動センターへ；12000 円

国連 UNHCR 教会へ；20000 円

日本ユニセフ協会へ；20000 円

AMDA 特定非営利活動法人へ；22000 円

野洲社協へ；8/13 35390 円

(女性部バザー中主子ども食堂へ)

12/11 70000 円・白米 60 kg

(歳末助け合いへ)

ご協力ありがとうございました。

今年も、幸せを分かち合えますように  
みなさまの真心のご協力をお願いします！



## 1 月行事予定表

1	水	元日祭 朝 6:00
4	土	元始祭・交通安全祈願祭 初月霊祭 13:30 ← 時間変更注意 祭典後信徒総会
10	金	金光大神月例祭
11	土	本部年頭御礼バス参拝
12	日	大津教会月霊祭参拝 大津
16	木	県連会計監査 北里
21	火	天地金乃神月例祭 (14:00)
24	金	県教会連合会総会
30	(火)	教会長私用；にっこり作業所 (9

一緒にの参拝を  
お待ちしております。  
(現在申し込み  
21 名)  
㊞切 4 日  
本部へのお供え  
も 4 日㊞切